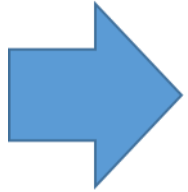
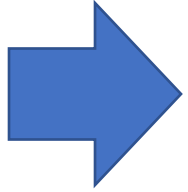
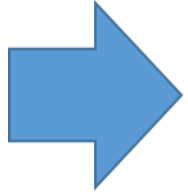


背景と目的

長崎の問題点



- ・ 繁華街がすぐ閉まる
- ・ 目立ったところにしか集まらない
- ・ 観光する場所が点在している
- ・ リピーターが少ない
- ・ 魚を食べる場所がない
- ・ 市場が行きにくい場所にある
- ・ 写真を撮れるスポットが少ない
- ・ 広報がうまくいっていない
- ・ 交通の便が悪い
- ・ 目立つモニュメントがない



有名だけど、
行きにくい…

繁華街がすぐ閉まる…

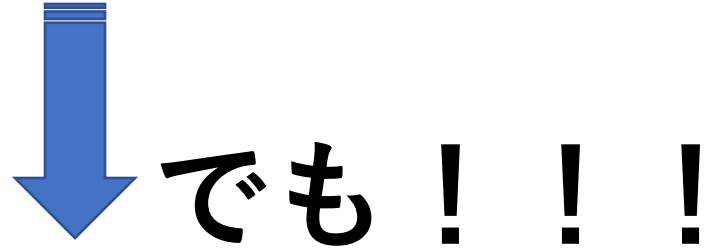


魚のイベントはあるけど、どこで開催しているかが分かりにくい



長崎県は漁獲量全国第2位・取れる魚の豊富さは全国第1位

長崎は魚が有名なのに新鮮で美味しい魚を食べることができる場所が少ない



観光客の方に長崎で長崎産の美味しい魚を食べて欲しい！

長崎の漁港を活かして多くの人に魚を提供する場所を作りたい！！！！



長崎でも漁港を観光地に



唐戸市場（山口県）



日本海さかな街（福井県）



近江町市場（石川県）



沼津港 港八十三番地（静岡県）



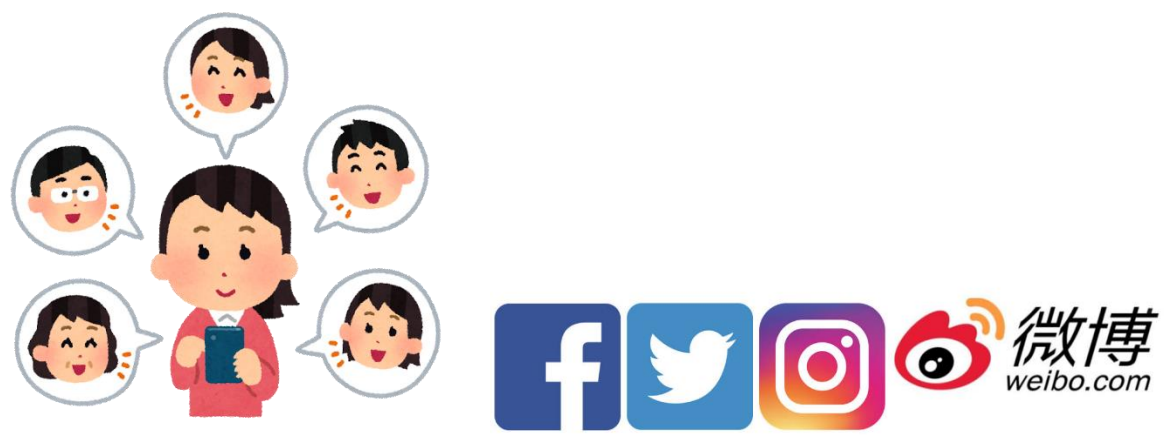
錦市場（京都府）

SAKANAI イベント

- 目的：長崎に来た観光客の方に新鮮で美味しい魚を楽しんで貰うためのイベント。
- ターゲット層：10代～30代
- 開催場所：観光客の方にもわかりやすい長崎市中心部
（例）かもめ広場、水辺の森公園、港公園など
- 時期：冬



宣伝方法



- **SNS**を活用
- Twitter、Instagram、weibo、大学生協などで拡散してもらう
- ハッシュタグで投稿したら割引などのサービスを用意
- **モニュメント**を活用
- 会場内に魚、海、長崎等をイメージできるようなモニュメントの設置

横 ① さかな



上



下

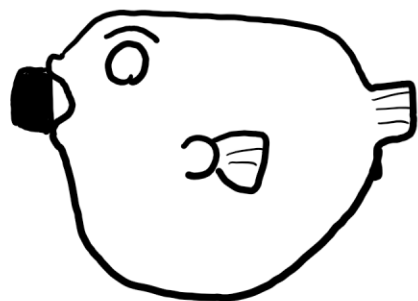


② くびれたさかな



③ ふく

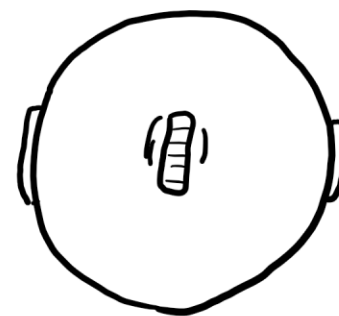
横



前

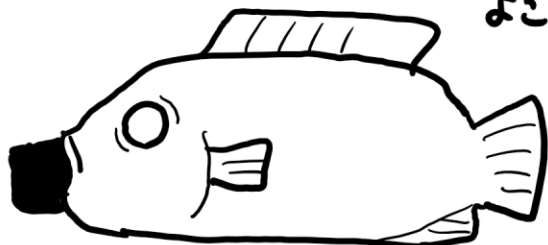


後

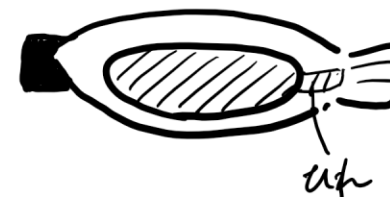
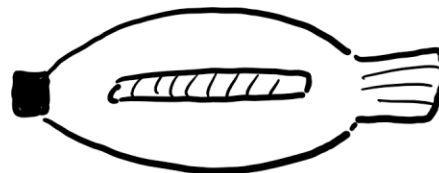


④ アマダイ

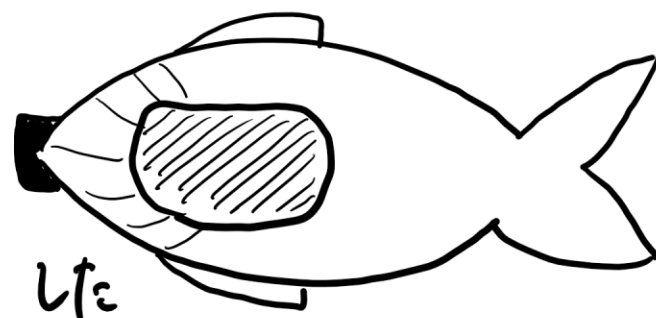
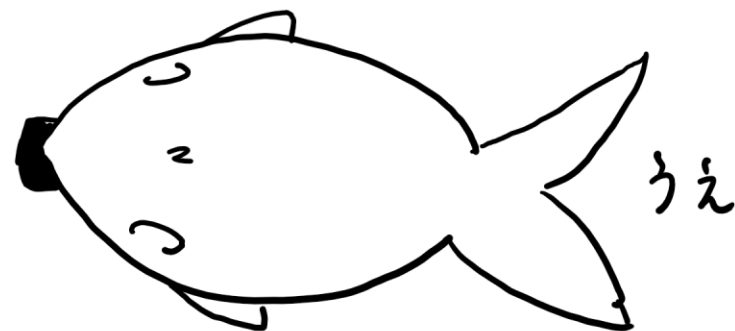
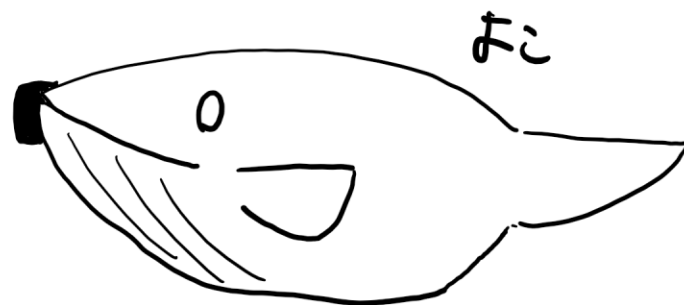
よこ



上



④ くじら



ふくろみたい...



実際にやったこと

- ペットボトル会社
メールを送信
- ペットボトル会社
との電話



そこから分かったこと

- ・オリジナルはお金がかかる
- ・既存の型を使い、ラベルをオリジナルにした方がいい



最終目標

長崎に海産物を食べられる魚市場を作る！

そもそも長崎に漁港はなかったのか？



新旧長崎漁港の航空写真（左：昭和40年代の長崎漁港（長崎地区） 右：現在の長崎漁港（三重地区）

平成元年に長崎漁港は三重に移転！

魚市場は三重地区に既にあり、新しく作る必要はない、、、

海産物を提供し、利益を得ると利権問題に関わる？

三重漁港の人に説明が必要！

長崎市内で集客したあと、三重地区に送客する手段がない、
三重漁港の人々にプラスになるようにするためには？

難しい！！ 迷走しました(笑)

長崎の海産物の美味しさを味わってもらって知ってほしい！！
私たちが考える魚市場は情報発信をすることだけに特化すれば
いいのでは、？



長崎の問題点



魚に関するイベント案



新しいアイデアを出そう！

新しい観光の案

- グラバー坂に露店
- 電車でご飯
- パンフレットを利用した情報発信
- 魚関連でもう一度

グラバー坂に露店

夕方になると店が閉まる



店がないから更に来ない



キッチンカー形式出店



電車でご飯。

長崎の交通手段 = 電車



特定の物を飲食する電車



同様にできないか



滋賀県『おでんde電車』

パンフレットを利用した情報発信

現在あるマップはただの英訳版



国ごとに向けた情報発信



観光に携わる事業者と相談



今後の課題

- 本当にいままで練った案を捨てるか
- 単発ネタの観光にならないよう注意
- より多くの人に届く情報発信の仕方を考える